

10-1 九州地方とその周辺の地震活動（2008年11月～2009年4月）
Seismic Activity in and around the Kyushu District (November 2008 – April 2009)

気象庁 福岡管区气象台
Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA

今期間、九州地方とその周辺でM4.0以上の地震は38回、M5.0以上は5回発生した。このうち最大は、2009年3月27日に沖縄本島北西沖、2009年4月5日に日向灘で発生したM5.6の地震であった。

2008年11月～2009年4月のM4.0以上の地震の震央分布を第1図(a)及び(b)に示す。

主な地震活動は以下のとおりである。

(1) 日向灘の地震（M5.6，最大震度4，第2図）

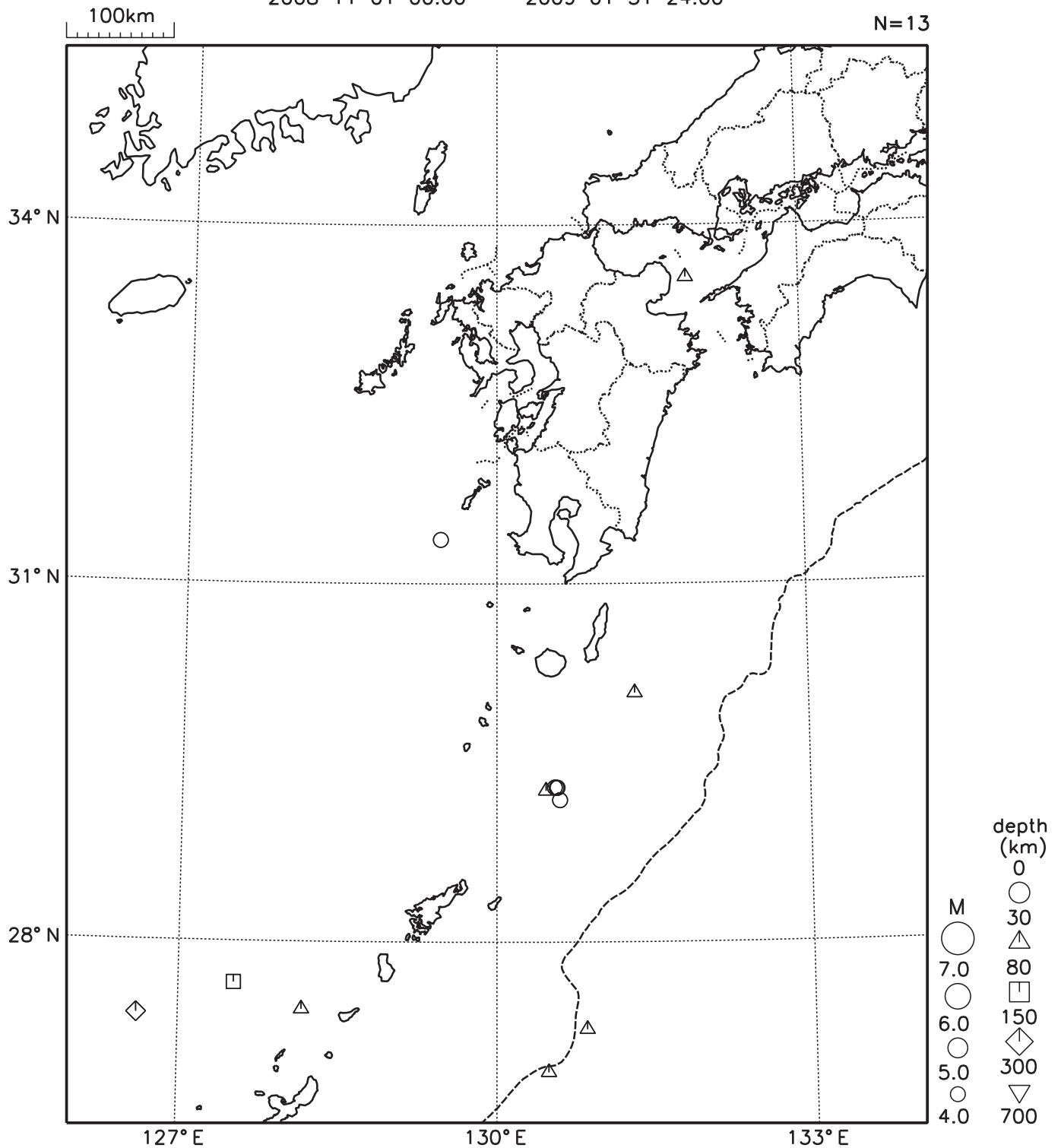
2009年4月5日に、日向灘の深さ28kmでM5.6の地震（最大震度4）が発生した。

発震機構（CMT解）は、北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

1923年8月以降、日向灘周辺の地震活動をみると、M6.5以上の地震は数年から十数年の時間スケールで時折発生している。最近では、1996年10月19日にM6.9，同年12月3日にM6.7の地震（ともに最大震度5弱）が発生し、四国から九州にかけての太平洋沿岸で10cm程度の津波を観測した。

九州地方とその周辺の地震活動 (2008年11月～2009年1月、 $M \geq 4.0$)

2008 11 01 00:00 -- 2009 01 31 24:00

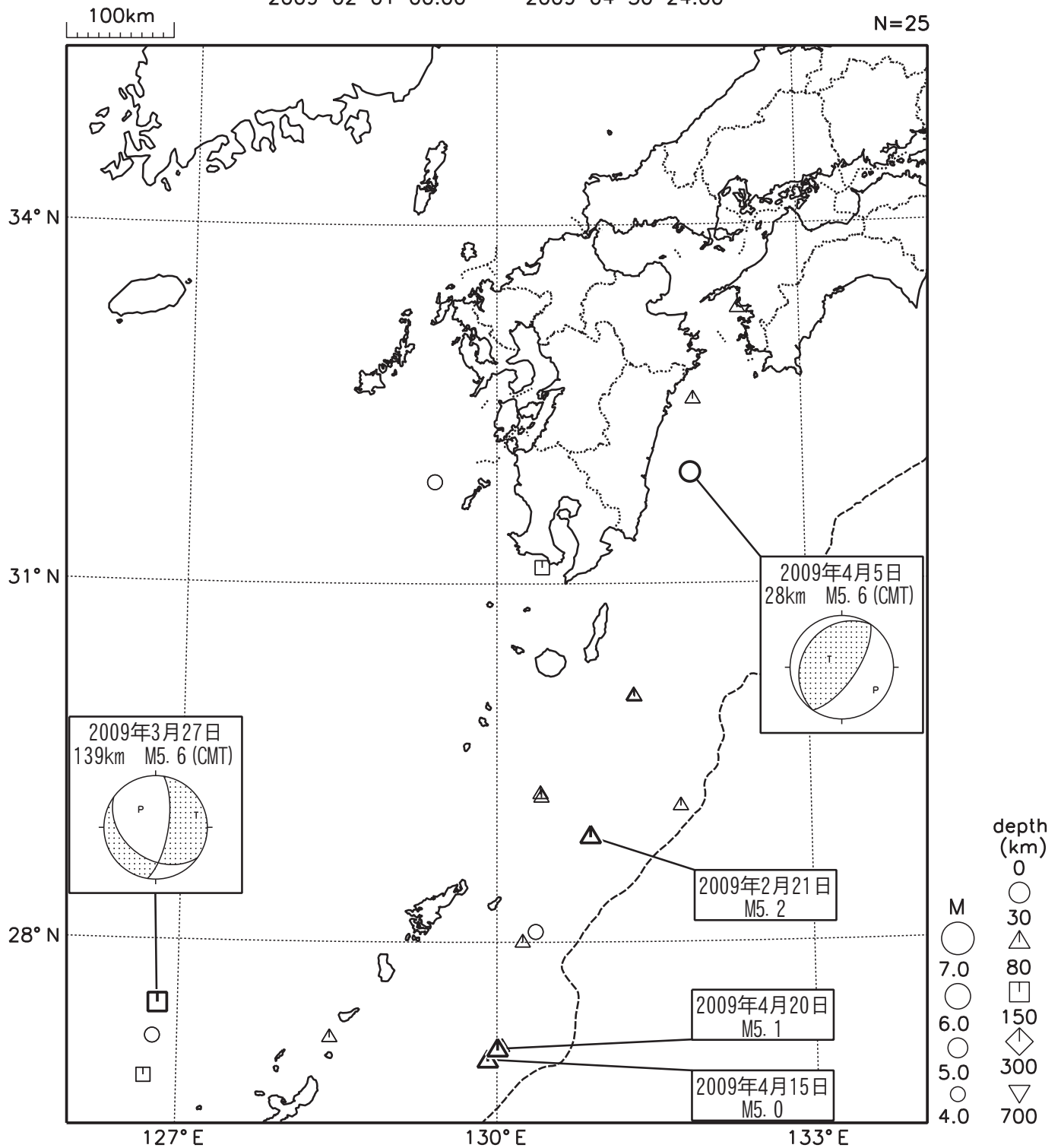


図中の吹き出しは、陸域 $M4.0$ 以上・海域 $M5.0$ 以上

第1図(a) 九州地方とその周辺の地震活動 (2008年11月～2009年1月, $M \geq 4.0$, 深さ ≤ 700 km)
 Fig.1(a) Seismic activity in and around the Kyushu district (November 2007 - January 2008, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km).

九州地方とその周辺の地震活動 (2009年2月~2009年4月、 $M \geq 4.0$)

2009 02 01 00:00 -- 2009 04 30 24:00



図中の吹き出しは、陸域 $M4.0$ 以上・海域 $M5.0$ 以上

第1図(b) つづき (2009年2月~4月, $M \geq 4.0$, 深さ ≤ 700 km)

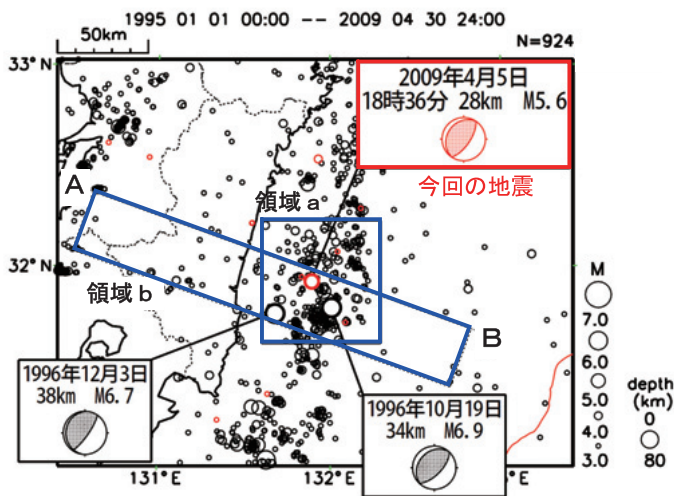
Fig.1(b) Continued (February - April 2008, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km).

4月5日 日向灘の地震

プレート境界型、逆断層型、M5.6

震央分布図

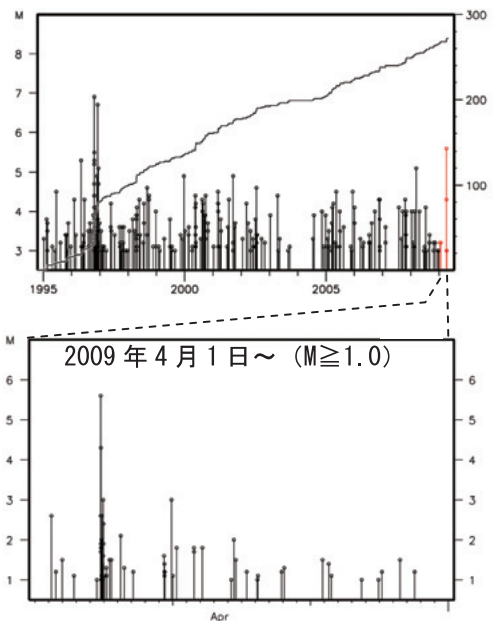
(1995年1月以降、深さ0~80km、M≥3.0)
メカニズム解は全てCMT解



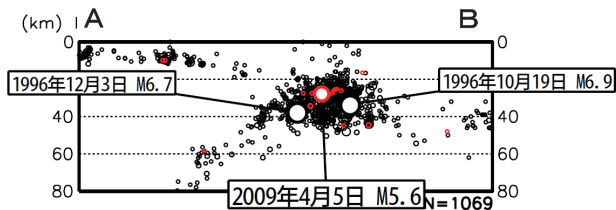
2009年4月5日18時36分に日向灘の深さ28kmでM5.6の地震(最大震度4)が発生した。発震機構(CMT解)は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

この付近(領域a)では、1996年10月19日にM6.9、同12月3日にM6.7の地震(共に最大震度5弱)が発生している。

領域 a 内の地震活動経過図、回数積算図

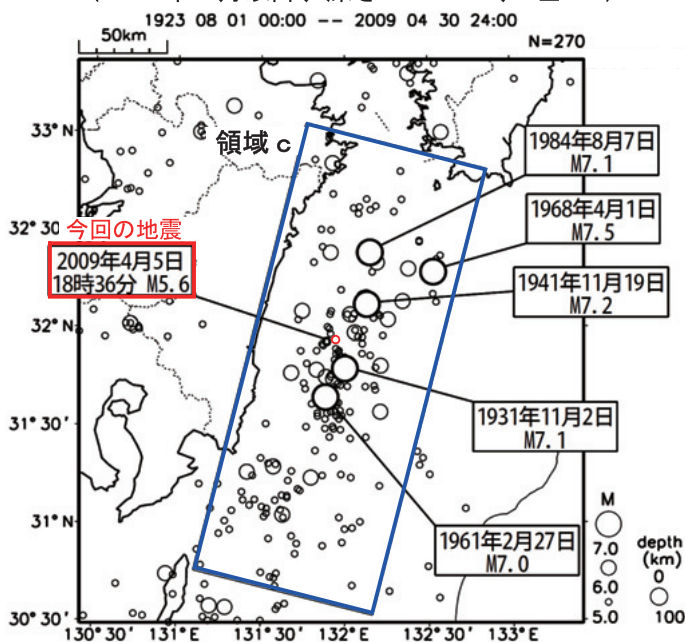


領域 b 内の断面図 (A-B 投影、M≥2.0)



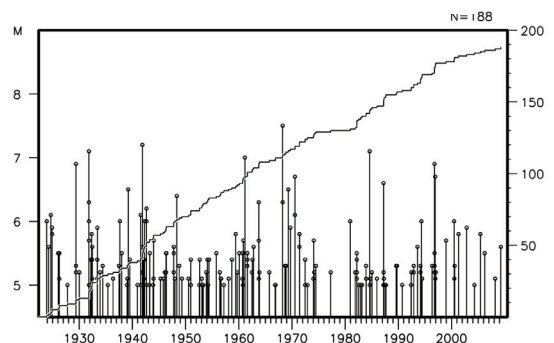
震央分布図

(1923年8月以降、深さ0~100km、M≥5.0)



1923年8月以降の活動を見ると、日向灘ではM7.0以上の地震が5回発生しており、最近では1984年8月7日にM7.1の地震(最大震度4)が発生している。

領域 c 内の地震活動経過図



第2図 2009年4月5日 日向灘の地震

Fig.2 The earthquake in the Hyuga-nada Sea on April 5 2009.